



南スーダンの現状と 自衛隊の駆けつけ警護 ～NGOの支援現場から視る～

10月12日(水) 19時00分～20時30分

築地本願寺・講堂

参加費:1000円

今井高樹 × 布施祐仁

日本国際ボランティアセンター(JVC)スーダン事務所代表

ジャーナリスト

現地の視点から南スーダンのことを考える

昨年9月、安保関連法が成立しました。その法のもとで、今年11月から南スーダンのPKOに派遣する自衛隊の部隊に「駆けつけ警護」などの新任務が付与されます。日本の自衛隊の活動が大きく変わるため、大きな注目を集めています。

南スーダンで今月、紛争被害者の支援活動を実施した日本国際ボランティアセンター(JVC)のスーダン事務所代表の今井高樹さんが10月に一時帰国します。今井さんは2007年よりスーダンおよび南スーダンでの活動を行っており現地の事情に詳しく、また、日本のメディアもほとんど入っていない南スーダンの首都ジュバの状況を知る数少ない人のひとりです。なかなか情報がない南スーダンについて市民の目線で語っていただき、私たちの生活や平和について考える会にしたいと思います。

聞き手には自衛隊のPKO問題に詳しいジャーナリストの布施祐仁さんを迎え、分かりやすく解説してもらいます。

NGO非戦ネットとは

NGO非戦ネットは、現場で国際協力活動・交流活動を行うNGOの有志が集う緩やかなネットワークです。昨年成立した安保法制の議論を機に発足しました。現在国内のNGO77団体、NGO職員・役員ら約300名が賛同しています。

NGOは国境を越えて市民同士が協力し合い、国の利害を超えて貧困、環境、人権、紛争といった地球規模の問題の解決に取り組んできました。

時には戦争の被害に苦しむ人々、貧しく抑圧された人々を直接支援しながら、彼らの声を国際社会に伝えることで不公正な政治、経済のあり方を問いだしてきました。また一方で、自然と共生し、独自の文化・価値観のもとで安心して暮らす人々の生活に触れ、「豊かさ」のあり方を共に学びあう交流の場を築いてきました。

わたし達は現場の人間、世界とつながろうとする市民の視点から非戦を訴えます。

PKOの多国間共同訓練「カーン・クエスト」の訓練風景(陸上自衛隊提供)

<登壇者プロフィール>

今井高樹 (いまい・たかき)

日本国際ボランティアセンター(JVC)スーダン現地代表。スーダン南部自治領(現南スーダン)のジュバに3年にわたり駐在。

2010年よりスーダン(北部)の南コルドファン州に移動、2011年6月の紛争勃発後は首都ハルツームに駐在する。今年9月には南スーダン首都ジュバ近郊で避難民の緊急支援を行った。



布施祐仁 (ふせ・ゆうじん)

ジャーナリスト。『平和新聞』編集長。著書に『経済的徴兵制』(集英社新書)、『日米密約 裁かれない米兵犯罪』(岩波書店)、『18歳からわかる平和と安全保障のえらび方』(共著、大月書店)など。岩波書店『世界』4月号に「南スーダン内戦に自衛隊はどう対処したか〜内部文書で見るPKOの真実」を執筆。



<会場アクセス>

築地本願寺

講堂(本堂に向かって左手、門法ホールの上2階)

東京都中央区築地3-15-1

日比谷線「築地」駅 徒歩約1分 / 有楽町線「新富町」駅 徒歩約5分

浅草線「東銀座」駅 徒歩約5分 / 大江戸線「築地市場」駅 徒歩約5分

<主催> NGO非戦ネット運営委員会 www.ngo-nowar.net

<問い合わせ先> info@ngo-nowar.net HP/Facebookで最新情報を掲載しています

